

演劇・映画の専門図書館

公益
財団法人

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 246(2018年9月) ■

平成 30 年 9 月 10 日発行

クラウドファンディングでの支援募集【第7弾】を開始しました!

公益財団法人 松竹大谷図書館は、当館運営費及び所蔵資料のデジタル化費の募集を目的としたクラウドファンディング「【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」プロジェクトを、9月4日(火)より、「Readyfor (レディーフォー)」にて開始いたしました。本館は常に財政が厳しく、平成24年、専門図書館としては初めて、運営資金を募集するためのクラウドファンディングプロジェクトを「Readyfor」で実行しました。以来、昨年まで6回のプロジェクトを実行し、いずれも目標金額を達成し、これまでに累計で、約1,770万円のご支援をいただきました。そして、今年も「第7弾」として、昨年と同様、クラウドファンディング「Readyfor」で実行します。



プロジェクト名 「【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」

- 募集期間 平成30年9月4日(火)～10月24日(水)【50日間】
- 目標金額 250万円
 - ・図書館の平成30年度運営資金:180万円
 - ・【川上音二郎・貞奴アルバム】の補修・デジタル化費用:70万円
- 募集金額設定 3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円

本年の【第7弾】プロジェクトでは、図書館の平成30年度運営費(主に電動移動書架の基板交換費)の募集及び、120年前につくられた「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料(通称【音貞アルバム】)」の補修・デジタルアーカイブ化に取り組みます。

【通称【音貞アルバム】】とは、明治32年から33年にかけて行われた川上音二郎・貞奴一座の欧米公演に関する現地の記事や、音二郎・貞奴をはじめとする座員達の手紙や葉書、写真など、当時の公演の状況を知る上で大変重要な資料が貼り込まれた貴重な資料です。実は、このアルバムの元の持ち主は、川上音二郎の姪で、のちに映画女優となり、日本人ハリウッドスター早川雪洲夫人となったことで知られる青木鶴子で、彼女の少女期と思われる写真も貼り込まれています。この

演劇史・映画史両分野において貴重なこのアルバムを未来に伝えるための今回のプロジェクトに、是非ご協力をお願い致します。

ご支援の金額に応じて、当プロジェクト限定歌舞伎台本『妹背山婦女庭訓』と、映画台本『張込み』の表紙デザインの文庫本カバーや、所蔵する台本(歌舞伎・映画)のうち、約200タイトルの中から支援者にお好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)に支援者のお名前を載せる権利、歌舞伎の記録映画『紅葉狩』『鏡獅子』上映会へのご招待など、趣向を凝らしたリターンを設定しています。是非、プロジェクトページをご覧ください、周囲の方にもご紹介いただけますようお願いいたします。また趣旨にご賛同・ご支援いただければ大変有難く存じます。



「歌舞伎台本」文庫本カバー[左]
「映画台本」文庫本カバー[右]
※大きい方は本物の台本文庫本カバーは見本

くわしくは、下記の URL または右の QR コードからプロジェクトページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan7>



★公式 Facebook 始めました★ こちらでもクラウドファンディングの情報を発信しております!

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトへの支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、税制の優遇措置は受けられません。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 8月演劇公演資料 ■

劇場	演目	○ …… 受入済み			
		台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『花魁草』	○			
	『龍虎』	○			
	『心中月夜星野屋』	○		○	○
	『再伊勢参りYJKT 東海道中膝栗毛』	○			
	『雨乞其角』	○			
	『通し狂言 盟三五大切』	○			
新橋演舞場	『新作歌舞伎 NARUTO-ナルト-』	○		○	○
日生劇場	ニッセイ親子歌舞伎『太刀盗人』『藤娘』	○		○	
松竹座（大阪）	『明日を駆ける 少年たち』	○		○	
地方巡業	『華岡青洲の妻』			○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	7月	ワンツーワークス『私は世界』プログラム、台本
大阪新歌舞伎座	8月	『コロッケ特別公演』プログラム
吉祥寺シアター	8月	劇団め組『SAMURAI 達の挽歌』プログラム 阿佐ヶ谷スパイダース『MAKOTO』プログラム
国立劇場小劇場	7月	伝統芸能の魅力『親子で楽しむ舞踊・邦楽』プログラム 伝統芸能の魅力『大人のための雅楽声明入門』プログラム
	8月	中村歌昇・中村種之助勉強会『第四回双蝶会』プログラム 『小学生のための歌舞伎体験教室発表会』プログラム 『第二十回音の会』プログラム 尾上右近自主公演『第四回研の會』プログラム
国立文楽劇場	8月	『第二十八回上方歌舞伎会』プログラム、台本
こまばアゴラ劇場	8月	ホエイ『スマートコミュニティアンドメンタルヘルスケア』プログラム
座・高円寺1	8月	『改訂版 無頼の女房』プログラム、台本
サンモールスタジオ	7月	『死と乙女』プログラム
	8月	チーズ theater『川辺市子のために』『川辺月子のために』プログラム
シアタークリエ	7月	『大人のけんかが終わるまで』プログラム
シアター風姿花伝	8月	パラドックス定数『5 seconds』プログラム パラドックス定数『N f 3 N f 6』プログラム
新国立劇場中劇場	7月	『レインマン』プログラム
大丸心斎橋劇場	8月	坂東竹之助自主公演『第一回竹之助の会』プログラム
テアトルエコー	8月	『青い鳥たち、カゴから』プログラム
帝国劇場	8月	『ナイツ・テイル 騎士物語』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	8月	ハイバイ『夫婦』プログラム
日本橋劇場	8月	市川崑之助自主公演『崑之会』プログラム
博品館劇場	7月	『音楽劇 Winnie - the - Pooh! もうひとつの物語』プログラム
	8月	『トランジット・コメディアンズのコント集2018・夏』プログラム あ・うんグループ『侍三銃士』プログラム 『しあわせの雨傘』プログラム
三鷹市芸術文化センター星のホール	8月	(劇) ヤリナゲ『みのほど』プログラム
明治座	8月	『山内恵介 東京・明治座初座長公演』台本

(新着資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|--|---------------------------|
| 『AAC』Vol.97 | 『歌舞伎 研究と批評』61号 |
| 『Confetti』2018年SEPTEMBER | 『御園座演劇図書館Newsletter』Vol.5 |
| 『JATE』No.83 | 『国立演芸場公演ガイド』平成30年9月号 |
| 『Misonoza Theatre Library Newsletter』Vol.5 | 『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』12号 |
| 『TICKETS GO!GO!』Vol.82 | 『大向う』平成30年8月号,9月号 |
| 『omoshii mag オモシイ・マグ』 | 『伝統文化新聞』147号 |
| Vol.13 | 『日本演劇興行協会会報』54号 |
| 『ほうおう』2018年10月号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成30年9月号 |
| 『シアターガイド』2018年10月号 | 『日本照明家協会誌』2018年8月号 |
| 『テアトロ』2018年9月号 | 『日本舞踊』70巻9月号 |
| 『ラ・アルプ』2018年9月号 | 『邦楽の友』平成30年9月号 |
| 『演劇界』2018年10月号 | 『民藝の仲間』691号-703号 |

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 『FLIX』2018年10月号 | 『ピクトアップ』2018年10月号 |
| 『NFAJプログラム』No.6 | 『映画テレビ技術』2018年9月号 |
| 『SCREEN』2018年10月号 | 『映画撮影』No.218 |
| 『TVガイド』2018年8/10号,8/17号,8/24号,8/31号 | 『映画時報』2018年8月号 |
| 『おとなのデジタルTVナビ』2018年10月号 | 『映画秘宝』2018年10月号 |
| 『エキブ・ド・シネマ』No.222 | 『衛星劇場プログラムガイド』2018年9月号 |
| 『キネマ旬報』2018年9月上旬号,9月下旬号,PREMIUM #01 | 『黒澤明研究会誌』39号 |
| 『シナリオ』2018年10月号 | 『東映キネマ旬報』Vol.31 |
| 『シナリオ教室』2018年9月号 | 『特ラ連レポート』164号 |
| 『ドラマ』2018年9月号 | 『日経エンタテインメント!』2018年9月号 |
| | 『文化通信ジャーナル』2018年9月号 |
| | 『芸術学研究』28号 |

■ 映画プログラム ■

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 『オーシャンズ8』 | 『銀魂2 掟は破るためにこそある』 |
| 『テニスの王子様 BEST GAMES!! 手塚 vs 跡部』 | |
| 『曇天に笑う 外伝 桜華、天望の架橋』 | 『500ページの夢の束』 |
| 『MEG ザ・モンスター』 | |

»» 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|--------------|
| 『歌舞伎評判記集成 第三期 第一巻』 | 役者評判記刊行会 (編) | 和泉書院 |
| 『中村獅童のいざ歌舞伎へ』 | | NHK出版 |
| 『八代目市川団十郎画像資料集 I I』 | 中村恵美 (著) | 私家版 (中村恵美) |
| 『父、中村富十郎 その愛につつまれて』 | 渡邊正恵 (編) | 富士房インターナショナル |
| 『ミュージカル映画事典』 | 重木昭信 (著) | 平凡社 |
| 『映画をこよなく愛する人へ フィルモグラフィー』 | 日本ファッション協会シネマ夢俱樂部 | 日本ファッション協会 |
| 『昭和桃色映画館 まぼろしの女優、伝説の性豪、闇の中の活動屋たち』 | 鈴木義昭 (著) | 社会評論社 |
| 『さよなら日劇ラストショウ since 1933-2018』 | 東宝ステラ (編) | 東宝映像事業部 |
| 『公益財団法人山路ふみ子文化財団 創立四十周年記念史』 | 山路ふみ子文化財団創立40周年記念史編纂委員会 (編) | 山路ふみ子文化財団 |

資料をご寄贈くださった方々（敬称略・順不同／2018年6月～7月）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、明治座、国立劇場、邦楽の友社、株式会社日本舞踊社、一般社団法人日本演出者協会、シナリオ・センター、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、日本映画テレビ技術協会、劇団四季、愛知芸術文化センター、帝国劇場、劇団銅鑼、デアゴスティーニ・ジャパン、文学座、キネマ旬報社、演劇出版社、博多座、関西・歌舞伎を愛する会、劇団俳優座、若林さだ吉、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、M & O p l a y s、株式会社ホリプロ、こまつ座、一般社団法人日本民間放送連盟、劇団民藝、東宝株式会社、丸善出版株式会社、ロングランプランニング株式会社、花組芝居、公益社団法人日本演劇興行協会、伝統文化新聞、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本照明家協会、大熊欽一、産経新聞出版、有限会社合同通信社、御園座演劇図書館、日本アカデミー賞協会、(有)アゴラ企画、小西正子、(株)近代映画社、国立映画アーカイブ、四季株式会社、銀座百店会、おもだか会、下野公久、長谷浩幸、銀座 博品館劇場、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、梅田芸術劇場、無声映画鑑賞会、東京都江戸東京博物館、劇団昴、山口博哉、前進座、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、株式会社東急文化村、日本映画テレビプロデューサー協会、武中雅人、人形劇団プーク、シアタークリエ、国文学研究資料館、日本近代文学館、岩波ホール、新歌舞伎座、大田区立郷土博物館、日本劇団協議会、映画論叢、流山児★事務所、俳優座劇場、劇団青年座、劇団俳小、国立歴史民俗博物館、社団法人日本演劇協会、三越劇場、渡辺保

どうもありがとうございました

●●●第72回展示「演劇や映画のなかの築地、その界限」展●●●

展示期間:2018年8月29日～10月24日
於 閲覧室

本年10月11日、築地市場が豊洲へ移転します。大正12[1923]年に発生した関東大震災をきっかけに、市場が日本橋より築地へ移転してから約80年の長きにわたり、築地市場は日本の食文化を支えてきました。今回は、この歴史ある築地市場、そして築地界限が舞台である演劇や映画をとりあげ、当館の所蔵資料から展示します。

■資料一覧■

【演劇】

歌舞伎『安政奇聞佃夜嵐』スチール写真／大正15[1926]年6月歌舞伎座/作:古河新水/主な出演:初代中村吉右衛門、6代目尾上菊五郎/安政年間、佃島の監獄から島抜けをする御家人上がりりの2人の悪党の世話物。明治時代、2人の国事犯が脱獄し処刑された実話が基となっている。写真は「佃島構外島脱け」の場。貞次郎が泳げない玄蔵を背負って泳ぎ、島抜けをするユニークな場面。歌舞伎独特の浪布(なみぬの)を使う演出が用いられている。

歌舞伎『八幡祭小望月賑』プログラム・スチール写真／昭和2[1927]年7月本郷座/作:河竹黙阿彌/主な出演:初代中村吉右衛門、3代目中村時蔵/通称「縮屋新助」「美代吉殺し」。文化4[1807]年深川八幡宮祭礼の人出のため永代橋が落ちた事件と文政3[1820]年の呉服屋の息子による深川芸者殺しの事件を基に作られた。この本郷座での上演では序幕返しの場合が「佃沖猪牙船」の場となっている。写真は永代橋の落下で川に流されてきた手古舞の装いの深川芸者おみよを新助が助ける場面。背景は一面佃島の遠見である。

歌舞伎:行事「船乗り込み」／昭和31[1956]年8月2日/翌日からの新橋演舞場の8月東西合同大歌舞伎にちなんで行われた「船乗り込み」。2代目中村鴈治郎、2代目中村扇雀(=4代目坂田藤十郎)他出演者が乗船。旧松竹本社前の三吉橋から築地界限、新橋演舞場を巡った。写真奥の建物は新橋演舞場、橋は采女橋。船が浮かぶ築地川は、現在は高速道路となっている。「船乗り込み」は、江戸時代に大坂道頓堀で行われていた宣伝行事。京都や江戸から来た歌舞伎俳優達が、東横堀九之介橋あたりから船で道頓堀の芝居の浜さきまで乗り込んだ。

歌舞伎『江戸の夕映』スチール写真／昭和 53[1978]年 9 月新橋演舞場/作+演出:大佛次郎/主な出演:10 代目市川海老蔵 (=12 代目市川團十郎), 初代尾上辰之助 (=3 代目尾上松緑), 7 代目尾上菊五郎/明治維新という激動期を舞台に、時代に翻弄される二人の旗本の姿を描いた作品。写真は「築地河岸」の場で、品川沖に停泊する幕府の船に乗り込もうとする旗本の本田小六が官軍の巡邏隊長に呼び止められる場面。

歌舞伎『竜馬がゆく 立志篇』スチール写真(舞台面)／平成 19[2007]年 9 月歌舞伎座/作:司馬遼太郎/脚本+演出:齋藤雅文/主な出演:7 代目市川染五郎 (=10 代目松本幸四郎), 5 代目中村歌六, 3 代目中村歌昇 (=3 代目中村又五郎) / 尊王攘夷に身を投じた竜馬の姿をその最期まで描いた新作歌舞伎。3 部作の第 1 作目にあたり、翌年の『風雲篇』、翌々年の『最後の一日』と続く。写真は「築地軍艦操練所」の場で、勝海舟の弟子となった竜馬が、築地の軍艦操練所で咸臨丸を眺めながら自らの飛躍を誓うクライマックスの場面。

新派『寒菊寒牡丹』スチール写真／昭和 40[1965]年 1 月新橋演舞場/作+演出:川口松太郎/主な出演:花柳章太郎, 初代水谷八重子, 3 代目市川翠扇/売れっ子芸者の菊葉と、母親と名乗れない芸者妻吉。新橋花柳界を舞台に芸者達の間模様を描いた作品。写真は「築地河岸」の場で、実は妻吉が母と知っていた菊葉が妻吉に真実を教えてほしいと訴える場面。

新派『女将』スチール写真／昭和 49[1974]年 11 月新橋演舞場/作+演出:北條秀司/主な出演:3 代目市川翠扇, 菅原謙次, 阿部洋子/新富町の料亭「酒舟」が舞台。現在の京橋税務署の裏手あたりに実在した。一人娘の結婚の準備に余念のない料亭の女将と復員軍人の夫の心温まる新派劇。写真は、料亭「酒舟」の茶の間で、終戦後、物資難のためなかなか手に入らない白無垢の婚礼衣装を無事手に入れ、女将とその夫が喜ぶ場面。

新派『佃の渡し』スチール写真／平成 7[1995]年 12 月新橋演舞場/作+演出:北條秀司/演出:大場正昭/主な出演:2 代目水谷八重子, 島田正吾, 波乃久里子/佃島に橋が架かる前の昭和 15[1940]年、佃島と築地明石町を舞台に漁師の娘お咲の悲恋を描いた作品。写真は「明石町河岸の渡船発着所」の場。佃島と築地明石町を結ぶ渡船が出る。昭和 39[1964]年 8 月の佃大橋の完成により約 300 年続いた佃島渡船は廃止された。

演劇『築地ホテル館炎上』台本／平成 5[1993]年 11 月 3 日-7 日国立劇場小劇場/作:堤春恵/演出:末木利文/主な出演:弥生みつ子, 中山仁, 中村彰男/堤春恵の『鹿鳴館異聞』『仮名手本ハムレット』に続く“文明開化三部作”の最後の作品。文明開化に揺れる明治時代、西洋式の「築地ホテル館」で育った豪商の一人娘の葛藤を描く。

【映画】

映画『長屋紳士録』スチール写真／昭和 22[1947]年松竹大船/監督+脚本:小津安二郎/脚本:池田忠雄/主な出演:飯田蝶子, 青木放屁, 河村黎吉/小津安二郎監督の戦後第 1 作。夫と子を失ったおたねは長屋で 1 人暮らし。ある日、戦災孤児らしき少年の世話を押し付けられ、迷惑がりながらも面倒をみるうちに情が移っていく。映画では橋の上で魚釣りをする子どもたちの後ろに、戦禍を免れた築地本願寺が映る。

映画『麥秋』スチール写真／昭和 26[1951]年松竹大船/監督+脚本:小津安二郎/脚本:野田高梧/主な出演:菅井一郎, 笠智衆, 原節子/28 歳になった娘の見合い話を中心に、市井の人々の日常を静かに描いた名作。原節子演じる紀子の親友アヤ(淡島千景)の家が築地の料亭「田むら」。佐野周二演じる紀子の上司・佐竹は「田むら」が行きつけで、写真には「田むら」の座敷に集う 3 人が映る。

映画『魚河岸帝国』台本／昭和 27[1952]年新東宝/監督:並木鏡太郎/脚本:池俊行+戸田伊太郎/原作:宮本幹也/主な出演:田崎潤, 龍崎一郎, 山村聡/築地市場の運送屋でオート三輪の運転手として働くことになった主人公。ワンマン社長との対立や市場で芽生える恋をユーモラスに描く。戦後の築地市場が多く映り、当時の風景を知ることのできる作品。

映画『橋』スチール写真／昭和 34[1959]年松竹大船/監督:番匠義彰/脚本:柳井隆雄/原作:大佛次郎/主な出演:岡田茉莉子, 笠智衆, 石濱朗/戦後の社会で、1 人で生きようと奮闘する元海軍少将の良平、それを見守る次女良子、良子に思いを寄せる純朴な大学生三造を中心に、様々な人間模様が映し出される作品。冒頭では「明石町」と書かれたバス停で良子と三造がそれぞれ降り、遠くに聖路加病院が映る。写真は良平と良子が遊覧船に乗っている場面で、背後に勝鬃橋が見える。



左より『寒菊寒牡丹』(昭和 40[1965]年 1 月新橋演舞場)、『女将』(昭和 49[1974]年 11 月新橋演舞場)、『佃の渡し』(平成 7[1995]年 12 月新橋演舞場)[※こちらの台本は展示しておりませんが、閲覧できます]

映画『秋立ちぬ』スチール写真／昭和 35[1960]年東宝/監督:成瀬巳喜男/脚本:笠原良三/主な出演:大沢健三郎, 乙羽信子, 一木双葉/父を亡くし、親戚が営む銀座裏通りの八百屋に母と共に身を寄せた、小学 6 年の秀男のひと夏の物語。旅館の娘・良子と知り合った秀雄は、2 人で銀座や築地などで遊びながら親交を深めていく。成瀬巳喜男は昭和 26[1951]年の『銀座化粧』でも銀座や築地、月島界隈を舞台に映画を撮っている。

映画『魚河岸の旋風娘』スチール写真／昭和 38[1963]年松竹大船/監督:堀内真直/脚本:富田義朗/主な出演:伴淳三郎, 牧紀子, 弘田三枝子/魚河岸を舞台に、弘田三枝子演じる明朗な高校生が家業の魚屋を手伝いながら、周囲に笑いの渦を巻き起こす人情喜劇。父親役に伴淳三郎が扮している。

映画『香華』スチール写真／昭和 39[1964]年松竹大船/監督+脚本:木下恵介/原作:有吉佐和子/主な出演:乙羽信子, 岡田茉莉子, 田中絹代/気儘で奔放な母・郁代とその母に振り回される娘・朋子の波乱の一生を、明治から昭和にかけて移り変わる時代を背景に描いた文芸大作。朋子は 25 歳で築地に旅館「波奈家」を開業し女将となる。

映画『天国は待ってくれる』プログラム／平成 19[2007]年ギャガ・コミュニケーションズ+松竹+ジェネオンエンタテインメント+LDH+IMAGICA+ディズニースター/監督:土岐善将/脚本+原作:岡田恵和/主な出演:井ノ原快彦, 岡本綾, 清木場俊介/築地で共に育った幼なじみの男女 3 人の、大人になり変わりゆく関係を描いた青春映画。3 人は築地市場、築地近くの新聞社、銀座の文具店でそれぞれ働いている設定で、市場内でも本格的にロケが行われた。

映画『築地魚河岸三代目』プログラム／平成 20[2008]年「築地魚河岸三代目」製作委員会/監督:松原信吾/脚本:安倍照雄+成島出/原作:はしもとみつお+鍋島雅治/主な出演:大沢たかお, 田中麗奈, 伊原剛志/築地市場が舞台の人気漫画の実写化。商社勤務のエリートサラリーマンが退職し、婚約者の実家である築地の仲卸「魚辰」で奮闘する人情ドラマ。

映画『こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE 勝どき橋を封鎖せよ!』プログラム／平成 23[2011]年『こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE』製作委員会/監督:川村泰祐/脚本:森下佳子 (ほか)/原作:秋本治/主な出演:香取慎吾, 香里奈, 速水もこみち/昭和 51[1976]年から平成 28[2016]年まで連載された秋本治の長寿人気漫画の実写映画。2009 年放映の連続ドラマに続き香取慎吾が主人公の警察官両津勘吉を演じた。ラストシーンでは勝鬃橋が印象的な場面として映っている。

映画『TSUKIJI WONDERLAND(築地ワンダーランド)』プログラム／平成 28[2016]年松竹メディア事業部/監督+脚本:遠藤尚太郎/当初 2016 年 11 月に豊洲への移転が予定されていた築地市場を 1 年以上かけて撮影。仲卸の人々や料理人へのインタビューも行われ、約 80 年の歴史ある市場のすべてを伝えるドキュメンタリー。

映画『3月のライオン 前編』プログラム／平成 29[2017]年映画『3月のライオン』製作委員会/監督+脚本:大友啓史/脚本:岩下悠子+渡部亮平/原作:羽海野チカ/主な出演:神木隆之介, 有村架純, 倉科カナ/将棋を題材にした人気漫画の実写化。中学生でプロ棋士としてデビューした主人公が様々な強敵たちとの戦いに挑んでいく青春ドラマ。主人公が 1 人暮らしをしている川沿いの下町は佃・月島エリアで、中央大橋や佃小橋が登場する。

▼築地が舞台となった、映画台本ご紹介▲
右の写真は、当館が所蔵する、築地とその界隈が舞台となっている映画台本から 23 冊をピックアップしたものです。ご覧になられた作品はあるでしょうか? こちらの台本はすべて閲覧できますので、ご興味のある方は、閲覧室にてカウンターまでお尋ねくださいませ。



■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2018（平成30）年8月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

勘亭流書道研究会

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（敬称略）

鈴木舟光

どうもありがとうございます

目録カードの修正作業



寄贈資料の仕分け作業



書架内で蔵書の移動
4人がかりです



■ 編集後記 ■
▼ 8月15日より8月28日まで、2週間の夏期特別整理休館をいたしました。今年の夏は、電動移動書架のセンサーの交換作業のために書架内で蔵書の移動を行ったり、閲覧室では寄贈資料の仕分けや目録カードの修正を行いました。休館中の作業の様子を写真でお届けします。



● 利用案内 ●
● 開館時間 ●
平日午前10時～午後5時
● 休館日 ●
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
● 入館料 無料 ●
● 閲覧 館内閲覧のみ ●

● 交通案内 ●
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

